

第 12 回大和郡山病院 地域協議会

開催日時 令和 3 年 10 月 14 日 (木) 14:00~15:00

場 所 大和郡山病院 3 階講義室

議 題 1 活動状況報告
2 意見交換会

出席者 外部委員

大和郡山市医師会長 松本光弘、大和郡山市歯科医師会長 大野忠彦、
大和郡山市薬剤師会長 倉岡伸次、大和郡山市福祉健康づくり部長 富田豊、
大和郡山市地域包括ケア推進課長 山内英之、
大和郡山市医師会訪問看護ステーションやすらぎ管理者 増井香里、
患者・患者家族代表 野田和世

院内委員

院長 松村正彦、副院長 北大路正顕、副院長 (兼) 地域医療連携部長 松下光伸
事務部長 白倉直樹、看護部長 久門容子、副看護部長 (兼) 地域医療連携室長 福永直美、
訪問看護ステーション看護師長 諸越真理子、主任医療社会事業専門員 砂原直美
総務企画課長 前田昌宏、経理課長 米田秀道

(順不同、敬称略)

・開催の挨拶 (松村院長)

本日はお忙しい中、皆様お集まりいただきましてありがとうございます。この協議会は年 2 回開催する形で地域の皆様のお声をいただく会であります。本日は現在の病院の状況や活動報告をさせていただきます、皆様が日頃感じておられることとお話しいただければと思っております。

・委員の紹介

・議題

活動状況報告

整形外科部長 伊勢 健太郎 「私がしてきたことと今後の展望」

泌尿器科医長 辰巳 佳弘 「コロナ時代の当科の役割について」

・意見交換会

松本医師会長

- ・コロナでここ 2 年近く非常に大変な状況になっています。大和郡山市はコロナワクチン接種が進んでおり、希望者についてはほぼ接種できております。しかし、ブレイクスルー感染もありますし、今も先が見えない状況であります。今後は少しでも落ち着いていけばよいと思っております。現在よく聞かれるのが、コロナ禍において家族等が入院しても面会ができない、家族等にあえないのが寂しいと聞かれます。この状況においては皆さんも仕方ないと感じておられるが少しでも状況が良くなればと思っております。

大野歯科医師会長

- ・コロナに関しては歯科医師会としても感染対策を万全にとって診療にあたっています。しかし、患者さんよりコロナの陽性がわかっているにもかかわらず、報告せずに受診をしたことによって医院を休ま

ざるをえなかったケースもあり、とても残念なことです。ただ、全国的に歯科からの発生はないと聞いており、歯科医師会としては安堵しております。今後、歯科医師会としては、オールフレイルが重要であり、昨年より術前の口腔ケアなど積極的にご紹介いただいています。地域病院の必要性を最大限にアピールしてもらいたいです。

(松村院長) 昨年から術前の口腔ケアなどの歯科連携でお世話になっております。引き続きよろしくお願い致します。

倉岡薬剤師会長

- ・薬剤師会としては厚生労働省より、4月10日付事務連絡にて通知のあった、オンラインや電話受診などで依頼のあった処方箋を薬剤師が調剤・自宅まで届けるということも行っている。どのくらいの件数実施しているのかは現在集計中です。大和郡山病院は昔から市民に愛されている病院であり、大病院と開業医の間である強みをもっとアピールして行ってほしいです。

富田大和郡山市福祉健康づくり部長

- ・ワクチン接種にご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで大和郡山市のワクチン接種については10月14日7時時点で12歳以上の1回目81.2%、2回目72.7%接種済となっています。3回目の接種について現時点では未定となっておりますが12月から接種予定で進めていくことになるかと思えます。12月中は医療従事者、1月以降に一般の方の形になりますが優先順位は未定です。次に産後ケアの状況について確認しました。産後ケアとは4か月未満の赤ちゃんがいるお母さんに日帰りで支援を行うものです。令和3年度についてはコロナの影響もあり件数は少ないですが、令和2年度には44回行っており、大和郡山病院にも30回ご協力いただき、アンケート結果も満足している結果をいただいている。今後の課題としては大和郡山市内では他市に比べ、病児保育の整備が進んでおらず、少しでも進めていけるようにしたい。

(松村院長) 病児保育については、小児科学会でも取り上げられており、当院も取り組む方向で、またご相談させていただきたいと思っております。

山内地域包括ケア推進課長

- ・高齢者福祉事業について日頃よりご協力いただきありがとうございます。在宅介護、医療の連携の評価に力をいれています。おかげさまで県下でも進んでおると評価をうけております。今後も多職種連携も強化していきたい。

増井訪問看護ステーションやすらぎ管理者

- ・現在、やすらぎの利用者は約9割近くが90歳以上となっている。コロナで約2年が経過し、独居で生活されていた方などがコロナ禍で自宅にこもりがちとなりADLの低下や、話しする機会が減り嚥下機能が低下している方が増加しています。気候の影響もあり、体調をくずされている方も増えています。訪問看護としても介入しているが、なかなか改善していかない状況が続いています。利用者にも病院の認知度は高いので、病院からも在宅へ向けての情報などあれば提供いただくと助かります。

野田患者・患者家族代表

- ・子供をこの病院で5人出産し、その子供も今回里帰りでこの病院で11月に出産予定です。関東圏からの里帰り出産にも断ることなく受け入れてもらえてうれしい。健診なども利用しておりこの病院は地域にとって、なくてはならない病院だと思う。長年住んでいる町に安心して受診できる病院がある事をうれしく思う。

閉会の挨拶（北大路副院長）

地域協議会にお忙しい中お集まり頂きましてありがとうございます。

今日頂きましたご意見は参考にさせて頂きまして、地域医療の充実に貢献いたします。

以上

